

令和    7    年    7 月    7 日

東員町議会                      総務建設常任委員会                      委員長    伊藤治雄    様

東員町議会議長                      南部    豊

研    修    報    告    書

研修期間	令和    7    年    6 月    27 日（金）
研修（視察）先	桑名市役所    市長公室    政策創造課    MaaS 推進室
目的（テーマ等）	オンデマンド交通    AI 活用型    「のるーと桑名」
参加議員名 （複数の場合）	総務建設常任委員 6 名            議長            議会事務局 2 名
資料添付の有無	有    ・    ④無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

《研修概要、内容》

政策推進課 MaaS 推進室 室長森山氏

室長補佐 山口氏 主幹 伊藤氏 主査 近藤氏 主事 日下部氏 他2名の出席のもと

1. MaaS 推進室について
2. AI 活用型オンデマンドバスの取り組みについて
3. 自動運転の取り組みについて
4. 事業費について
5. 今後の進め方について

MaaS とは、 Mobility as a Service(サービスとしての移動)の略語

- ・出発点から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに提供する等、単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念
- ・スマートフォンを用いて、出発地から目的地までの移動手段の検索・予約・決済を一括して行えるサービス等が典型

桑名市では令和2年度より政策創造課内に「MaaS 推進室」を設置

既存の交通施策に加え、少子高齢化の進展に伴い多様化する地域課題を解決し、将来に向けた持続可能な公共交通施策を検討するため、MaaS や自動運転といった新たな手法に積極的にチャレンジ

市民満足度調査における評価

- ・令和6年度に実施した市民満足度調査において、「公共交通」の分野は重要度が高い反面、満足度は低いという結果
- ・「公共交通」を、市の重要施策である「3つのミッション」の一つに位置付け、引き続き施策を推進する

市民の声 （自由意見より）

- ・高齢者の方が買い物や移動に利用しやすいバスなどが普及するとよい
- ・免許証返納後の公共サービスの充実を望む

所感

今回の研修では、内容的には理解できる部分も多くありました。当町との現状を考えると、すべての数字が重くのしかかり、住民参加型の施策として理解がいただけるのか苦しむところであつたことは、否めないことと思いました。今後も「住民、行政、議会が何が重要で、何が必要なのか」具体的実現に向かうためにも、相当な意識改革が必要不可欠であると感じています。（特に、財政的課題など）

しかし、アンケート調査結果などの回収や設問内容など、今後当町にも参考にする所も多くあつたように思います。